

平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	スポーツマーケティング (Sport Marketing)		授業コード	E048501
担当教員名	永松 昌樹		科目ナンバリングコード	E30712
配当学年	3	開講期	前期	
必修・選択区分	選択	単位数	2	
履修上の注意または履修条件	<p>○テキストは、講義に必携すること。</p> <p>○演習ノートの作成は手書きとし、A4版レポート用紙の左上をステーブル等で留めること。</p>			
受講心得	○経営経済学部のでめる「受講心得等」を守ること。			
教科書	スポーツの経済学・池田勝／守能信次編・杏林書院			
参考文献及び指定図書	スポーツの経営学・池田勝／守能信次編・杏林書院 生涯スポーツの社会経済学・池田勝編・杏林書院 スポーツ産業論第6版・原田宗彦編・杏林書院			
関連科目	スポーツ社会学			

授業の目的	<p>人間とスポーツは、政治、経済、社会、文化、生活のあらゆる側面と深い関わりあう時代となった。レジャー・レクリエーションは広範囲な経済行動として捉えられ、さらに地域社会や企業組織における健康経営は医療費削減などに大きな影響を与える関係にもある。この科目では、スポーツビジネスにおけるマーケティングの理論を経営経済学的な観点から論考する。受講生の日常的な生活の中から、経済とスポーツの関係を理解することを出発点とし、スポーツマーケティングの理論と方法論を論理的に説明できる能力を獲得することが到達の目標となる。</p>
授業の概要	<p>この科目では、予習→講義→復習により、各回の演習ノート提出が求められる。予習では、1時間程度の学習が要求される。シラバスに示したテキスト部分を読み終え、毎回の鍵概念と自身の生活との関係についての感想と意見をまとめることが必要となる。講義時において、各自の感想と意見を発表することが要求される。90分の講義では、スポーツの経済学とマーケティングの理論と鍵概念の理解を深める。また、受講生各自が予習によって持ち寄った疑問を取り上げ、復習において受講生各自で作成する演習ノートの課題として提示し、解決策を考えるうえで有用と考えられる統計などの情報を提供する。復習では、A4版レポート用紙(2ページ分)の演習ノートを作成する。</p> <p>1) 予習から講義を経て得られた知見を記載する。 2) 課題について具体的な提案を実証的根拠も含めて論述する。</p>

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：スポーツマーケティングの学び方 スポーツの経済学 スポーツの経営学	教科書の準備 シラバス確認・演習ノート
第2週：スポーツ経済学の視点① GNPとGDP GNSPとGDSP	鍵概念の理解 教科書予読・演習ノート
第3週：スポーツ経済学の視点② 欧州と米国のスポーツ経済規模 日本のスポーツ経済規模	鍵概念の理解 教科書予読・演習ノート
第4週：スポーツ市場の分析① 個人の需給行動と市場需給 完全競争市場モデル	鍵概念の理解 教科書予読・演習ノート

第5週：スポーツ市場の分析② 消費者余剰と生産者余剰 価格規制とヤミ市場		鍵概念の理解 教科書予読・演習ノート
第6週：スポーツ需要の分析・予測① スポーツのための時間需要 余暇時間の決定		鍵概念の理解 教科書予読・演習ノート
第7週：スポーツ需要の分析・予測② 財・サービスの需要 需要行動予測		鍵概念の理解 教科書予読・演習ノート
第8週：スポーツ市場における公共部門の役割① 市場の失敗 公共財とメリット財		鍵概念の理解 教科書予読・演習ノート
第9週：スポーツ市場における公共部門の役割② スポーツの公的供給 公共施設の価格設定		鍵概念の理解 教科書予読・演習ノート
第10週：スポーツにおける経営とは スポーツ経営の領域 スポーツ経営学の特徴		鍵概念の理解 教科書予読・演習ノート
第11週：スポーツ消費市場と消費行動① 消費市場の類型 消費行動の特性		鍵概念の理解 教科書予読・演習ノート
第12週：スポーツ消費市場と消費行動② 消費行動の影響要因 意思決定プロセス		鍵概念の理解 教科書予読・演習ノート
第13週：スポーツマーケティングの実際① 研究領域と実践領域 スポーツとマーケティング		鍵概念の理解 教科書予読・演習ノート
第14週：スポーツマーケティングの実際② スポンサーシップ クラブのマーケティング		鍵概念の理解 教科書予読・演習ノート
第15週：スポーツマーケティングの実際③ マーケティング・ミックス 販売促進の方法		鍵概念の理解 教科書予読・演習ノート
第16週：期末試験		スポーツマーケティングまとめ 振り返りと課題の明確化
授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	
地域志向科目	該当しない	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	予習によって生じた疑問を講義の受講によって理解を深め、さらに復習を進めること。
【知識・理解】	講義で取り上げる鍵概念の理解、スポーツマーケティングの理論と方法論を論理的に説明できる能力を獲得すること。
【技能・表現・コミュニケーション】	受講者自身のキャリアや周囲の状況と考え併せ、自らの言葉で語り記すことができること。
【思考・判断・創造】	受講生各自の問題意識と課題解決への提案とその独創性を作り上げること。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。	10点		5点	
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。	10点	15点		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	10点	15点	5点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	10点	15点	5点	
(「人間力」について)				
※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	予習によって生じた疑問を講義の受講によって理解を深め、さらに復習を進めることによる学修の深化を、受講生各自の問題意識と課題解決への提案内容の具体性について確認する。演習ノートは評価後、受講生へ返却する。各回の演習ノートの評価得点は、優3点・良2点・可1点・不可0点とする。
発表・その他 (無形成果)	講義中の発表や発言の内容にテーマに対する関心・意欲・態度について確認する。特に、独創的な考え方を論理的にコメントすることが望まれる。